

8・6ヒロシマ平和へのつどい2023

被爆・敗戦78年

広島から非武装・非同盟中立の日本を

～NATOの世界化に反対し、東アジア共同体をめざそう～

呼びかけ文

2023年5月、G7広島サミットが行われました。私たちの予想した通り、ヒロシマは、G7広島サミットという権力者の軍拡、軍事同盟強化、ウクライナ戦争激化、拡大核抑止強化、戦争準備に利用されました。

岸田首相が喧伝した「核なき世界へ道筋をつける」という謳い文句は、「核抑止を前提とした解決」という首脳声明によって完全にメッキが剥がれました。3個もしくは4個の「核のボタン」を平和公園に持ち込み、戦争中の一方の当事者を嬉々として迎え入れたこのサミットは、世界の未来や平和を語る場からほど遠いものでした。開催された場所が、かつて日本の侵略戦争出撃拠点だった宇品だったことは、この会合の性格を如実に表しているといえます。

過去のアジア侵略戦争・植民地支配と、ヒロシマ・ナガサキへの原爆無差別大量虐殺という戦争犯罪への責任を曖昧にした日米両国主導の会合は、ウクライナ戦争への軍事支援の強化、対中国・対ロシアでの結束強化を確認し、日米韓軍事同盟の強化とNATOの全世界化ともいえる構造が作られようとしています。このことは、主権平等の原則で課題解決に臨もうとする世界の潮流に逆行するものです。招かれたグローバルサウス諸国の失望は大きく、東アジア・環太平洋を巻き込む、新冷戦体制・軍事同盟強化が加速されようとしています。

私たちは2000年7月開催の沖縄サミットに対抗する場で確認した「非暴力と対話による民衆視点での平和構想」の運動をさらに発展させ、経済・地球環境を含めた、資本主義に対抗するグローバルな社会変革をめざすことを、今次サミットに対抗する全国の仲間とともに確認しました。

東アジアでの平和構築を視野におき、「民衆の命を守る」ということを大前提として、岸田政権による戦争国家づくりを阻止しましょう。

極東での対立構造を解き、朝鮮半島の平和的統一、ミャンマーの民主化、民衆のためのウクライナの平和などの課題に向けて話し合い、結集・行動していくことを被爆から78年目を迎えるヒロシマから訴えます。

◆8月6日(日)の行動日程

- 7:45 グラウンドゼロのつどい（原爆ドーム前）
- 8:15 追悼のダイイン（原爆ドーム前）
- 8:30 「8・6広島デモ」出発（原爆ドーム前～中国電力本社前）
- 9:30 脱原発座り込み行動（中国電力本社前）

8・6ヒロシマ平和へのつどい2023実行委員会

連絡先: 広島市中区堺町1-5-5-1001

電話 090-4740-4608

E-Mail 86tudo.hiroshima@gmail.com

<http://8-6hiroshima.jpn.org/tudo/tudo.html>